

2023年  
令和5年  
10月号

# 広報 たっこ

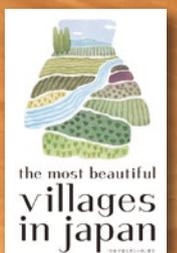


## 「田子町ふるさと大使」に寺田農さん

相米慎二監督映画祭りに今回で3回目の出演となった俳優の寺田農<sup>みのり</sup>さん。そのご縁から、町では寺田さんに「田子町ふるさと大使」を委嘱させていただきました。

### [CONTENTS]

- 今月の話題…………… 2  
第8回相米慎二監督映画祭り
- トピックス…………… 4  
田子町公営塾夏期講習  
みろく館来館者36900人達成 ほか
- お知らせ…………… 7
- 公民館情報…………… 10  
第31回青森県民駅伝競走大会 町の部12位 ほか
- 図書館情報…………… 11  
10月の特集展示「国際交流・国際理解」と「災害・防災」
- 情報スクランブル…………… 12  
学校の話 たっここども園 ほか



第8回

# 相米慎二監督 映画祭り

～魅力発信、  
田子に眠る映画監督～



トークショーの様子

【夏の庭 The Friends】

出演  
三國連太郎  
坂田直樹  
王泰貴  
牧野憲一 ほか

1994年公開



8月19日、タプコピアンプラザホールで第8回相米慎二監督映画祭りが開催されました。これは相米地区にある先祖の墓で眠る、映画監督相米慎二さんの魅力をたくさんの方々に知ってもらおうと、町の主催で平成26年度から行われており、今年8回目の開催となりました。

映画上映前には、トークショーゲストで俳優の寺田農さんへ、映画祭りに今回で3回目の出演をいただきご縁を踏まえ、町のイメージアップと、産業や観光の魅力を広くPRしていただく『田子町ふるさと大使』の委嘱状交付式がありました。委嘱状を手にした寺田さんは「ただいま、委嘱状をいただきました。まずは、田子町がどこにあるか等、田子町のことをいろいろな所で話していきたいと思います」と抱負を述べました。

その後の第1部では、1994年に公開された相米監督作品「夏の庭 The Friends」が上映されました。

第2部のトークショーでは、



ゲストの寺田さん(左)と柄本さん



メッセージを見るゲストの柄本さん



開場を待つ長蛇の列



ゲストの榎戸さん(左)と平川さん



田子町ふるさと大使の委嘱状を受け取った寺田さん



ゲストの金原さん(左)と富樫さん



抽選会で当選し、記念撮影

寺田農さん、俳優の柄本明さん、GMO ENGINE(株)代表取締役社長の平川浩司さん、映画ジャーナリストの金原由佳さんをゲストに迎え、共に映画監督である榎戸耕史さん、富樫森さんが聞き手・進行役となり、撮影時のエピソードのほか、相米監督の人柄や魅力について語っていただきました。

トークショー終了後には抽選会が行われ、当選者にはゲストの寺田さんと柄本さんからサイン色紙や田子町の特産品詰め合わせ、第8回映画祭りのTシャツが贈られました。

会場ロビーには、ゆかりのあるスタッフや俳優の方々から寄稿していただいた映画祭り開催に向けてのメッセージ、相米監督全13作品の映画ポスター、当時の映画雑誌や台本などが展示され、来場者は貴重な数々の展示品に見入っていました。

今回の映画祭りには町内外から約200人が来場され、イベントを楽しんでいました。

## 田子町公営塾夏期講習

(※写真1)

7月31日から8月4日までの5日間、中央公民館とみろく館で、田子町公営塾の夏期講習が行われました。

これは、町教育委員会の主催で、町内の生徒の基礎学力向上などを目的に、中学2年生と3年生が外部講師による特別講義を無料で受けられるものです。今回の公営塾は、5日間の「夏期講習」のほかに、中学3年生を対象に8月から2月までの期間で「受験対策講座」が行われます。

7月31日は、中央公民館で夏期講習の開塾式が行われ、町内の中学生21名が出席しました。尾形真一朗教育長からは「夏期講習は5日間と短い期間ですが、普段勉強していて分からない所を克服する良い機会ととらえ、しっかりと目標をもって学習に励んでほしい」と激励の言葉がありました。参加した生徒は、高校受験に向け数学と英語の講義に真剣に取り組んでいました。

## 家族のきずな便

(※写真2)

お盆の帰省を自粛されるなどした町外在住のご家族へ、町内の地場産品などを宅配する送料を町が負担する「家族のきずな便」の今年1回目の受け付けが8月3日から6日までの4日間行われました。これは、各ご家庭で3個までの荷物の送料を町が負担する事業で、令和2年度から毎年実施しています。

送り状の横には、たつこ王子のシールが貼られ、受け取った方が一目で町の制度を利用したものだと思われる工夫が施されています。

期間中の4日間で、約450世帯がこの制度を利用し、約900個の荷物が町外へ発送されました。今年2回目の受け付けは、12月7日から10日までの4日間を予定しています。

## デイキャンプ2023

(※写真3)

8月5日、タブコプ創遊村と創遊村229スキーランドを会場に、田子町子ども

も会育成連絡協議会と田子町教育委員会の主催による「デイキャンプ2023」が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和2年の開催以後は中止となっていたため、今年度は3年ぶりの開催となりました。

今年のデイキャンプには町内の小中学生19名が参加しました。快晴の空のもと、野外での炊事やイワナのつかみ捕り、レクリエーションやキャンプファイヤーを楽しみました。

昼食は、子どもたちが協力しながら、飯ごうでご飯を炊き、カレーを調理して食べました。午後は、創遊村の小川でイワナのつかみ捕りを行いました。一人で何匹も捕まえる子や、捕まえたイワナがすべって、何度も手から落としてしまう子もいました。

創遊村229スキーランドに移動し、歌やダンス、パラシュートコード編みなどのレクリエーションで親睦を深めました。夕食は、つかみ捕りで捕ったイワナの塩焼きやバーベキューを



(写真1) 熱心に受講する生徒たち



(写真2) きずな便の受付の様子



(写真3) イワナのつかみ捕りを楽しむ子どもたち

味わいました。日が暮れてからは、キャンプファイヤーをするなど、自然を満喫した一日となりました。

## 火の用心！七日市子ども会防火夜回り

(※写真4)

8月8日から10日までの3日間、七日市子ども会による防火夜回りが行われ、子どもたちが七日市地区を巡回して防火を呼びかけました。

9日は、幼児から中学生までの子どもたち約20名とその保護者が、「火の用心！マッチ一本火事のもと！」の掛け声と、拍子木を鳴らしながら夜回りを行いました。1時間ほど七日市地区を練り歩き、拍子木の高く乾いた音と子どもたちの元気な声が響きました。

この日、家族で参加した久保朱璃さん(田子小2)は「火事が起きないように、みんなが安全に暮らせるように、掛け声をかけました」と語っていました。

## 交通安全街頭活動

(※写真5)

8月13日、国道104号の関地区やすらぎの駐車帯付近で、交通安全街頭活動が実施されました。今年7月に町内の国道104号で交通死亡事故が発生したことを受け、交通量の増加が見込まれるお盆期間中に、主に県外からの旅行者等に対し、交通事故防止を呼びかけたため実施されたものです。

この日の街頭活動には、三戸警察署や三戸地区交通安全協会田子支部、三戸地区交通指導隊田子支隊から合わせて8名が参加しました。国道104号を秋田県方面から走行してきた車両に対して、交通安全チラシ等を配布し、交通事故防止を呼びかけました。

## みろく館来館者36900人達成

(※写真6)

8月14日、町文化観光交流施設みろく館で、昨年4月27日開館からの来館者数延べ3万6900人達成を

記念するセレモニーが行われました。

記念すべき3万6900人目となったのは、東京都から町内に帰省していた新井桜輔くん(9歳)と邦江さん親子。この日、みろく館で行われていた駄菓子屋を目標に午前11時頃に来館しました。

新井さん親子が来館すると、山本晴美町長が館内で迎え入れ、3万6900人目の来館者であることが告げられました。記念品として、9月末開催予定の「にんにくとべごまつり」への招待券や田子牛、たっこにんにくなどが贈られました。桜輔くんは「お盆に田子町に来たのは久しぶりで、みろく館には初めて来ました。3万6900人目になれてすごくうれしいです」と語っていました。

## 田子町戦没者追悼式

(※写真7)

8月17日、メモリアルたっこホールで田子町戦没者追悼式が行われ、遺族や関係者など約30人が参列しま



(写真6) みろく館を来館した新井さん親子



(写真4) 火の用心！ マッチ一本火事のもと！



(写真5) 交通安全チラシを配布する指導隊員

たっこまち地域おこし協力隊☆活動録

## ◆ロジカウベルを管理・運営します！

地域おこし協力隊の五十嵐です。  
個人的なことです。7月にロジカウベルの指定管理者に応募し、選考に通り9月から施設の管理運営を行うことになりました。田子町出身の方、南部町出身の方、そして移住者である私の3名で、それぞれが今行っているIT業、宿泊業、旅行業の知見や経験を合わせて運営していくこととなります。事業計画書を作る中で、あの施設を運営していく経営的な難しさを感じた一方で、その難しさを解消していける策をどれだけたくさん実行できるかに尽力しないとイケないと感じています。皆様からのサポートもぜひお願いしたいと考えていますので、引き続きよろしくお願ひいたします。



## ◆30秒のCMで田子町をPR！

こんにちは！ 地域おこし協力隊の木村治樹です。  
青森朝日放送 (ABA) 主催で毎年行われている「ふるさと自慢わがまちCM大賞」ですが、今年は県内の全市町村が参加。田子町もエントリーしておりまして、今年も担当は私が行っております。昨年度は、上郷小学校と清水頭小学校の方々にご協力いただきました。今年のテーマは“田子にんにくで心も体も元気に！”です。田子にんにくのおいしさだけでなく、田子町の持っているパワーを、にんにくを通して伝えるべく、コミカルかつ、ちょっとだけ感動できるような内容に仕上げたいと思っております。たくさんの方の協力をお借りしながら、絶賛撮影中でありまして、実際の公開は12月下旬頃のテレビ放送となります。皆様、ぜひご期待くださいませ。

たっこまち地域おこし協力隊☆活動録

山本町長は式辞で「先の大戦から学んだ教訓を忘れることなく、これまで先人達が築き上げてきた歴史、文化、施策を引き継ぎつつ、さらに発展するよう、力強く歩んでいく」と述べ、町政の発展を誓いました。その後、参列者が次々に祭壇に献花し、手を合わせていました。

8月18日、佐野ナミさん(袖平)の満100歳をお祝いするため、特別養護老人ホームみろく苑で敬老祝い金贈呈式が行われました。贈呈式では、山本町長からお祝いの言葉と花束が贈られ、ご家族や施設の職員と一緒に長寿をお祝いしました。

現在、町で100歳以上の方は、佐野ナミさんを含めて4名となっています。

した。町戦没者追悼式は、先の大戦において亡くなられた方々の御霊を追悼し、平和への誓いを新たにすることを目的に毎年開かれています。  
町出身の戦没者は338人で、式では戦没者に対し、参列者全員で黙とうをささげました。

8月18日、佐野ナミさん(袖平)の満100歳をお祝いするため、特別養護老人ホームみろく苑で敬老祝い金贈呈式が行われました。贈呈式では、山本町長からお祝いの言葉と花束が贈られ、ご家族や施設の職員と一緒に長寿をお祝いしました。

佐野さんは、大正12年8月に田子村(現田子町)でお生まれになりました。現在は、週3日デイサービスでみろく苑に通いながら、佐野さんの娘さんご家族と一緒に穏やかに暮らしていらっしゃいます。佐野さんは、食事は好き嫌いなく何でも食べられることが長寿の秘訣だと元氣にお話していました。



(写真7) 献花する参列者



(写真8) 満100歳を迎えられた佐野さん(左から2人目)

## ■ 田子町・ギルロイ市姉妹都市提携35周年記念「思い出写真」大募集！

田子町は今年、米国ギルロイ市との姉妹都市提携35周年を迎えました。10月末にはギルロイ市から関係者が来町し記念行事を予定しており、これにあわせ、町民の皆様の姉妹都市交流の「思い出写真」を大募集します。

▼**募集内容** ギルロイ市との交流に関する思い出の写真

▼**応募締切** 10月13日（金）まで

▼**記念品** 写真ご提供者へ参加記念品贈呈

▼**その他** ご提供いただいた写真は、姉妹都市提携35周年記念写真展示として、みろく館に展示する予定です。（展示期間：10月23日（月）～11月10日（金））

▼**応募方法** メールに添付、紙の写真でのご提供いずれも可（写真の様式は問いません）

※撮影した場所と一言コメントを添えてご応募ください。

詳しくは、下記の担当へお問い合わせください。

### ▼**応募先・問い合わせ**

田子町にんにく国際交流協会（市橋、佐藤）

☎32-3165 Email: takkogarlicenter@icloud.com

役場政策推進課（宮村）☎20-7127

Email: takko0104a@town.takko.lg.jp

## ■ キノコ採り等の遭難事故防止と毒キノコによる食中毒の注意喚起について

秋の行楽シーズンを迎え、キノコ採り等が入山する機会が多くなる季節となりました。

秋は、日が暮れてから急速に気温が下がるため、遭難と低体温症の危険が高くなります。また、冬眠に備えるクマが餌を求めて行動圏を拡大しており、クマとの不慮の遭遇を避け、人身被害や遭難事故を防ぐため、十分な注意をお願いします。

併せて、毒キノコによる食中毒を未然に防止するため食用のキノコと確実に判断できないキノコ類の採取、譲渡、喫食を行わないよう注意をお願いします。

- 天気の悪い時は入山をやめましょう。
- 山に入る時は、事前に家族や知人に場所を伝え、目立つ服装で携帯電話、雨合羽、水、食糧などを持って入りましょう。
- 2人以上で行動し、キノコ・山菜採りに夢中にならない。
- 食用キノコにそっくりな毒キノコもあります。「自分は大丈夫」と思わず、必ず確認しましょう。
- 遭難した時は、無理に歩き回らず、発見されやすい開けた山の上で体力を温存して、遠慮せず、警察、消防に救助を求めましょう。

問 役場産業振興課（森崎）☎32-3111（代表）

## ■ 令和6年度農作物生産力強化対策事業要望調査を実施します

町は、野菜等の生産力の向上と販売力の強化を図るため、農業者が行う農業用機械の購入やパイプハウス設置に係る経費の一部を助成するため、農作物生産力強化対策事業を実施する予定です。

つきましては、令和6年度中に農業用機械の購入やパイプハウス設置を予定している方は、下記のとおり必要書類をそろえて、担当課へお越しくさせていただきますようお願いいたします。

詳細については、産業振興課へご相談ください。

▼**対象者** 町内にお住まいの販売農家または認定農業者、新規就農者

▼**内容** 野菜、葉たばこ、果樹、加工・業務用野菜等の栽培管理に必要な機械やパイプハウスの購入に係る経費補助



▼**補助率** 1/4以内（上限あり）（予定）

### ▼**必要書類**

- ①導入予定の機械・施設の見積書（1者以上）
- ②上記のカatalog（機械のみ）
- ③要望書（産業振興課に置いてあります）

▼**提出期限** 10月26日（木）厳守

### ▼**その他**

- ・事業内容は、令和6年4月中に決定する予定です。
- ・現時点で詳細は未定のため、ご不明な点は、下記担当課までご相談ください。

### ▼**問合せ先・提出先**

役場産業振興課（山沢）☎20-7115

## ■ 田子町農業経営収入保険加入促進事業を実施します

町では、最近増加している自然災害等の農業者の経営努力では避けられない様々なリスクによる収入減少に備え、地域の農業者の安定経営及び地域農業の維持を図ることを目的とし、全国農業共済組合連合会を保険者とする収入保険に加入する費用に対し補助を実施いたします。

### ▼**補助額**

区分	補助率	補助限度額
1年目	1/4以内	3万円
2年目	3/20以内	2万円

※収入保険に加入するには、青色申告していることが条件となります。

※青森県農業共済組合が一括して申請を行うことになります。

問 役場産業振興課（戸川）☎20-7115

## 青森県中小企業者等LPガス・特別高圧電気価格高騰対策支援金

青森県では、エネルギー価格高騰の影響により、厳しい経営環境が続いている県内中小企業者の負担軽減を図るため、国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」の支援対象外となっている「LPガス」や「特別高圧電気」を使用する県内中小企業者等に対し、その使用量に応じて支援金を給付することといたしました。

### ▼給付金額

令和5年1～9月分の使用量に支援単価を乗じた額

支援単価	1～8月分	9月分
業務用LPガス	62円/m <sup>3</sup>	31円/m <sup>3</sup>
特別高圧電気	2.5円/kWh (上限月50万円)	1.25円/kWh (上限月25万円)

※家庭用を対象としたLPガス料金の値引きや、県のほかの支援金の対象となる場合は対象外です。

### ▼申請受付期間 10月2日(月)～11月30日(木)

※郵送の場合は当日消印有効

### ▼申請先 主たる事業所の所在地を所管する商工会、商工会議所または青森県商工会連合会

### ▼専用電話相談窓口

- ・開設日 6月28日(水)～12月25日(月)までの平日
- ・開設時間 午前9時～午後5時
- ・電話番号 0120-66-0217 (通話料無料)

※支援金制度詳細は、次の県ホームページをご参照ください。

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/shoko/chiikisangyo/lpgasushienkin.html>



## 農地を貸したい方と、農地を借りたい方を募集中～農地中間管理事業で有利に規模拡大を！～

公益社団法人あおもり農業支援センターでは、県から農地中間管理機構の指定を受け、農地中間管理事業を実施しています。

農地の所有者で、経営規模を縮小する方、または農業をリタイアする方で、作付けしなくなった農地を、中間管理機構へ貸してみませんか？

中間管理機構が借り受けた農地は、新たに作付けする担い手に対して貸し付けの契約をします。これにより、耕作放棄地の増加が抑えられるとともに、農地の有効活用が図られます。農地を貸したい意向がある方、農地を借り受ける意向がある方は、それぞれ申込用紙の記入が必要です。申込は、随時受付しております。

詳細については、産業振興課、農業委員会、または支援センターへご相談ください。

問 役場産業振興課(袖村) ☎20-7116

問 田子町農業委員会(宇藤) ☎20-7120

問 公益社団法人あおもり農業支援センター  
☎017-773-3131



## 困ったら一人で悩まず行政相談

10月16日(月)から22日(日)は『行政相談週間』です。

町民の皆様が毎日の暮らしの中で、役場の仕事に関する苦情や意見・要望などがあつた時に、身近な相談相手となるのは、行政相談委員(総務大臣が委嘱)です。

道路・河川、年金、医療保険、老人福祉、登記、労働基準、雇用保険、自動車検査・登録、窓口サービスなど、役場の仕事について、



- 苦情を直接申し出にくい
- 要望があるが、どこに話をしたらよいかわからない
- 制度や仕組みがわからない
- 困りごとがあるが、どこに相談してよいかわからないなど、お気軽にご相談ください。相談は無料で秘密は厳守します。

田子町の行政相談委員は、総務省から令和5年4月1日付けで委嘱された宮村ちえ氏です。

### ▼無料相談所開設日 12月5日(火) 田子町役場

問 役場住民課住民環境グループ(川村) ☎20-7113

問 総務省行政相談センターさくみみ青森

☎0570-090110

〒030-0801青森市新町2-4-25 青森合同庁舎4階

## 田子町農地パトロール実施のお知らせ

田子町農業委員会では、遊休農地の把握と発生防止、農地の無断転用防止を図り、農地の確保と有効利用を目的に、農業委員及び農地利用最適化推進委員による農地パトロール(利用状況調査)を実施します。

調査のために農地に立ち入ることがありますので、あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

なお、調査員は、腕章や名札等を身に付けて調査を行います。

また、草刈り等を行い農地の保全に努め、遊休農地の解消にご協力くださいますようお願い申し上げます。

### ▼実施時期 10月～11月

### ▼実施場所 町内全域

問 田子町農業委員会 ☎20-7120



## 参加者募集！ 食生活改善推進員養成講座を開催します

食生活改善推進員は「食改さん」と呼ばれ、バランスのよい食事をすすめる活動をしています。料理が好きな方、仲間づくりをしたい方、ボランティアに興味がある方、健康づくりについて学びたい方、ぜひ養成講座を受講してみませんか？

詳しくは10月配布の全戸配布チラシをご覧ください。

問 役場地域包括支援課健康増進グループ(本木)

(せせらぎの郷) ☎20-7100

## ■ 後期高齢者医療被保険者のみなさまへ

### 1. 保険料は納期限内に納めましょう

保険料の納付にお困りの方は役場住民課窓口へご相談ください。災害により住宅等に著しく損害を受けたり、世帯主の収入が著しく減少した場合など、保険料の減免が認められることがあります。保険料を滞納すると、通常より有効期限が短い被保険者証が交付されることがあります。

### 2. 保険料が年金から天引き（特別徴収）されている方へ

年金から徴収される保険料額は下記のとおりとなります。

**4月・6月・8月**…年金振込時に本年2月と同額を徴収済（仮徴収）

**10月・12月・2月**…本年7月に決定した保険料の年額から、仮徴収した額を差し引いた残額を分割して徴収（本徴収）

※徴収額は、7月にお送りした保険料額納入通知書等で確認ください。



問 役場住民課福祉グループ（前田） ☎ 20-7119

## ■ 町では冬期間の居住サービス入居者を募集します

この居住サービスは、独立して生活することに不安のある高齢者を対象に、一時的に居室を提供し、安心して生活できるように支援するものです。

### ▼対象者

- ① 町内に住所がある、概ね65歳以上の単身世帯、高齢夫婦世帯など
  - ② 自立生活が可能で、地域性や住環境、身体状況等により独立した生活に不安のある方
- ※次の方は入居できません



- イ 自立しているが、介助なしでは外出できない方
- ロ 階段の昇り降りのできない方

### ▼居室数

- せせらぎの郷 個室9室
  - けやき（※） 個室3室
- ※グループホームけやき荘の後ろ

### ▼入居期間（予定）

12月1日から3カ月（延長も可）

### ▼受付期限

10月16日（月）まで

### ▼その他

入居決定については、調査・審査の後個別に通知します。

問 役場地域包括支援課介護支援グループ（中村・稲村）  
（せせらぎの郷） ☎ 20-7100

## かんたん野菜レシピ

### かぼちゃのココット焼き

#### （材料）

- かぼちゃ 200g
- たまねぎ 1/2個
- 小松菜 1株、ベーコン 2枚
- 顆粒コンソメ 小さじ1/3
- A 塩・こしょう 少々
- ピザ用チーズ 適量



#### （作り方）

- ① かぼちゃはラップで包み、電子レンジ（600W）で3分ほど加熱する。粗熱がとれたら5mm幅の薄切りにする。
- ② たまねぎ・ベーコンは細切り、小松菜は2cm長さに切り、Aと混ぜる。マグカップ（2個）に入れてラップをし、電子レンジで1分半ほど加熱する。
- ③ ②にかぼちゃを並べ、その上にチーズをトッピングする。オーブントースターでこんがり焼き色をつけたらできあがり。

★10月31日は秋の収穫をお祝いする「ハロウィン」です。

★シンボルのかぼちゃに含まれるビタミンEは「若返りのビタミン」と呼ばれ、動脈硬化や認知症の予防などに効果があるといわれています。

（地域包括支援課栄養士 本木）

## ■ 県民公開講座

▼日時 10月22日（日）午後1時30分～3時30分

▼場所 県民福祉プラザ4階「県民ホール」  
青森市中央3-20-30

▼定員 300名 参加無料 申込不要

来場者特典あり（先着順）



### ◎基調講演① 「脳卒中の内科治療、お教えします」

講師：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター  
内科部長 齋藤新氏

### ◎基調講演② 「脳卒中の外科治療」

講師：弘前大学大学院医学研究科脳神経外科学講座  
教授 斉藤敦志氏

### ◎基調講演③ 「脳梗塞の新しい治療」

講師：弘前大学大学院医学研究科脳神経外科学講座  
助教 森田隆弘氏

### ●AED実演・体験コーナーもあります！

- ・心肺蘇生法
- ・AED
- ・血管年齢測定

問 青森県健康福祉部がん・生活習慣病対策課

☎ 017-722-1111（代）（内6278）

▽共催 青森県、弘前大学医学部付属病院脳卒中・心臓病等総合支援センター、青森地域広域事務組合消防本部

■行事等に関するお問い合わせは、田子町中央公民館 (☎20-7070 担当：山本)  
または上郷公民館 (☎33-1811) までお願いします。

## 第31回青森県民駅伝競走大会 町の部12位

「健脚でつなげ郷土の和と心」を大会スローガンに第31回青森県民駅伝競走大会が9月3日、4年ぶりに市街地コースで開催されました。

青森県全40市町村の代表選手が、正午にアスパム前をスタートし、26.1kmを9人の選手が練習の成果を発揮し力走を見せました。



結果は次の通りです。

☆総合タイム 1時間37分16秒

☆総合の部 25位 ☆町の部 12位

☆出場選手(町の部区間順位)

第1区(3.8km) 13分28秒(区間14位) 中山昊己  
第2区(1.1km) 4分19秒(区間15位) 山本奏汰  
第3区(1.1km) 3分47秒(区間16位) 中山稟菜  
第4区(5.0km) 18分14秒(区間16位) 櫻井風駕  
第5区(3.4km) 12分57秒(区間17位) 岩間翔太  
第6区(3.1km) 12分04秒(区間3位) 森崎愛実  
第7区(4.4km) 15分23秒(区間8位) 森崎進也  
第8区(1.7km) 6分34秒(区間14位) 久保心寧  
第9区(2.5km) 10分30秒(区間15位) 森本笑叶

選手、サポートメンバーのみなさん、おつかれさまでした！ 町民のみなさん、応援ありがとうございました！



## 健康ウォーク2023

季節ごとに町内外のルートを楽しめる「健康ウォーク2023」を開催しています。最終回となる10月は、十和田市睡蓮沼をスタートし、紅葉を楽しむコースとなっています。詳細については、全戸配布されたチラシをご覧ください。

▽と き 10月9日(月・祝)

▽ルート名 「紅葉ルート」

十和田市睡蓮沼スタート～

青森市城ヶ倉大橋駐車場ゴール

- ・はっするコース：約8.0km
- ・おきがるコース：約4.0km

▽集合場所 中央公民館

▽集合時間 午前8時30分まで

▽受付

参加受付は、10月3日(火)までをお願いします。

なお、申込後にやむを得ずキャンセルされる場合は、お早めにご連絡くださるようお願いします。

※各回定員20名となっております。定員を超えた場合は、参加を見合わせていただく場合がございますので、ご了承ください。



「七滝ルート」を歩く参加者

## 田子ひとくるめや文化祭開催

今年度の開催内容は、後日別途お知らせいたします。

▽開催日 10月21日(土)・22日(日)

## みんなでチャレンジ 公民館講座のお知らせ

### ●歴史講座

▽と き 10月8日(日) 午前9時～午後5時

▽ところ 岩手県花巻市(花巻城ほか)

▽内容 北信愛を訪ねて(野外講座)

▽参加費 無料 ▽定員 20名

▽持ち物 筆記用具・雨具等

※当日は、中央公民館内で受付してからバスで移動します。

※昼食代は自費でご負担いただきます。

※申し込みは、9月29日(金)までをお願いします。

### ●田子神楽養成講座

▽と き 10月13日(金)・17日(火)

午後7時～8時30分

▽ところ 中央公民館ホール・和室

▽対象 小・中・高の児童生徒

▽持ち物 扇

### ●フラワー教室

▽と き 10月24日(火) 午後7時～9時

▽ところ 上郷公民館研修室

▽参加費 3,000円程度

▽内容 葉ぼたんを使ったリース

※10月16日(月)までの申し込みが必要です。

※日程や内容に変更が生じることもあります。講座情報はその都度TCVやデータ放送、チラシでお知らせします。

# 図書館情報

## 10月の特集展示

### 「国際交流・国際理解」と「災害・防災」

#### ●特集展示1「国際交流・国際理解」特集

##### ▽期間

9月24日(日)～10月8日(日)

##### ▽担当課 役場政策推進課

▽内容 当町ではアメリカ合衆国ギルロイ市、大韓民国瑞山市、イタリア共和国モンティチェリ・ドン

ジーナ町との姉妹都市交流があります。お互いの文化や価値観が違っていても、他国を理解し、人と人が温かくつながることを目指しています。国際交流・国際理解に関する図書の展示と貸出です。



昨年の展示の様子

#### ●特集展示2「災害・防災」特集

##### ▽期間

10月11日(水)～10月18日(水)

##### ▽担当課 役場住民課

▽内容 災害シーズンに合わせ、関連図書や資料を展示・貸出します。また赤十字活動のPRも実施します。

#### ●古雑誌お持ち帰りコーナー

##### ▽期間 10月28日(土)から

※本がなくなり次第終了します。

▽対象 図書館の貸出券をお持ちの中学生以上の方。貸出券がない方は図書館カウンターでお作りください。

▽内容 「きょうの料理」「趣味の園芸」「やさいの時間」など図書館で購入し1年が経過した古雑誌を決められた冊数だけ差し上げます。

#### 図書館おやすみカレンダー

2023							10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7						
	8	9	10	11	12	13	14						
	15	16	17	18	19	20	21						
	22	23	24	25	26	27	28						
	29	30	31										

▼色の濃い日が休館日です。

#### 図書館の開館時間

水～土 午前10時～午後6時  
日曜日 午前10時～午後4時

#### 10月の図書館行事

▼10/18(水) 午前10時から  
セカンドブック/せせらぎの郷

▼10/27(金)～11/9(木)  
読書週間

▼10/28(土)～  
古雑誌お持ち帰りコーナー

田子町立図書館(担当:川村) ☎20-7221

#### 図書館休館日

毎週月曜日・火曜日・祝日・第4木曜日  
(館内整理日)

## 新刊案内

#### ●医療、美容、料理

▽70歳からのかる～い1分筋トレ&ストレッチ/493ヤ

▽あなたのクセ毛を魅力に変える方法/595カ

▽レンチン薬膳ごはん/596サ

#### ●環境、農業

▽「生ゴミ堆肥」ですてきに土づくり/門田幸代/518モ

▽山下惣一百姓の遺言/610ヤ

#### ●歴史・時代小説

▽父子(おやこ)船/仕立屋お竜4/岡本さとる/913オ

▽居酒屋お夏7/岡本さとる/913オ

▽居酒屋お夏8/岡本さとる/913オ

▽二枚の絵/柳橋の桜3/佐伯泰英/913サ

▽霜月記/神山藩3/砂原浩太郎/913ス

▽母子草/風の市兵衛2-32/辻堂魁/913ツ

▽虎と十字架/平谷美樹/913ヒ

#### ●怪談

▽怖い間取り2/松原タニシ/147マ

▽青瓜不動/三島屋変調百物語9/宮部みゆき/913ミ

#### ●警察小説、ミステリー

▽遠火/樋口頭8/今野敏/913コ

▽可燃物/米澤穂信/913ヨ

#### ●そのほかの小説など

▽ルミネッサンス/窪美澄/913ク

▽カモナマイハウス/重松清/913シ

▽私たちの世代は/瀬尾まい子/913セ

▽薬屋のひとりごと12/日向夏/913ヒ

▽百年の子/古内一絵/913フ

#### ●エッセイ

▽人生たいていのことはどうにかなる/高尾美穂/159タ

▽人見知りの自分を許せたら生きるのがラクになりました/わたなへぼん/361ワ

▽人生は70代で決まる/綾小路さみまる/779ア

■警察署コーナー



●キノコ採りの遭難をなくそう

◎携帯電話は車に置かず持ち歩きましよう

◎山に入るとき、山に入ったから：▽家族などに行先や帰宅時間を知らせる。▽食料、コンパスなどを持つ。▽急傾斜や崖など、危険な場所は避ける。

◎万一、迷ったら：▽日没後は歩き回らず救助を待つ。▽ヘリコプターの音が聞こえたら、見通しのよい場所でたお

■消防署コーナー



秋の火災予防運動が10月16日(月)から10月22日(日)までの1週間、県下一斉に実施されます。

住宅防火 いのちを守る

10のポイント

- ◎4つの習慣 ①寝たばこは絶対にしない、させない。
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ③こんろを使うときは火のそばを離れない。
- ④コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

◎6つの対策 ①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付

ルなどを振って合図する。熊にも注意

◎熊に出会わないために

▽音を出しながら歩く。▽日の出や日没の前後はなるべく山に入らない。▽熊の足跡などの痕跡を見つけたら迅速にその場を立ち去る。

◎熊に出会ってしまったら

▽熊がこちらに近づいてきたらゆつくり後退する。▽小熊には決して近づかない▽走って逃げたり、大声をあげたり、石を投げたりすることは危険です。

■三戸警察署田子警察官駐在所

32-3109

いた機器を使用する。②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びびカーテンは、防炎品を使用する。④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

■三戸消防署 田子分署

32-3104

■災害情報案内の番号を変更しました

7月1日からの受付番号 ☎050-5536-5985



10月の主な保健・介護予防事業予定表

3 (火)	生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30	19 (木)	八戸若者サポートステーション無料出張相談会 (せせらぎの郷) 午後2:00～4:00
4 (水)	特定健診・がん検診 (上郷公民館) 午前7:30～9:00	20 (金)	生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:30
5 (木)	4歳児健康相談 (せせらぎの郷) 午後1:30～3:30	24 (火)	特定健診・がん検診 (原交流センター) 午前7:30～9:00
6 (金)	生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:30	25 (水)	予防接種 (せせらぎの郷) 午前10:30～正午
10 (火)	生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30	27 (金)	認知症予防教室 (せせらぎの郷) 午後1:30～3:30
11 (水)	予防接種 (せせらぎの郷) 午前10:30～正午	30 (月)	特定健診・がん検診 (中央公民館) 午前7:30～9:00
13 (金)	特定健診結果説明会 (せせらぎの郷) 午前9:30～11:30、午後1:30～3:30	31 (火)	特定健診・がん検診 (中央公民館) 午前7:30～9:00
17 (火)	生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30		
18 (水)	こども健診 (せせらぎの郷) 午前9:30～正午		

町の人口

令和5年8月31日現在

世帯数/2065 (-5)  
人口/4869 (-11)  
男/2354 (-4)  
女/2515 (-7)  
( ) 内は前月比です

誕生

- 釜淵蓮王 (裕寛・千春) / 野々上
  - 袖村泉輝 (征志・静香) / 袖平
- ※ ( ) 内はご両親、"/" のあとは行政区です

お悔やみ

- 中村タケ (96歳) 原
  - 柳田光康 (97歳) 雀ヶ平
  - 嶋澤明子 (56歳) 上野
  - 山崎美輝 (93歳) 長坂
  - 川村義直 (90歳) 川代
- ※ ( ) 内は享年、( ) のあとは行政区です



心の相談窓口

役場地域包括支援課 ☎20-7100

# 学校の話 話題 たっくんども園

●楽しかった夏のお泊りサマースクール

3年ぶりに開催されたお泊り会サマースクールが、7月29日から7月30日に行われました。さくら組(年長)21名、かみごうこども園から2名、小学生24名の計47名の元気な子どもたちが参加しました。昨年までさくら組にいた1年生のお兄さんやお姉さんに会えることを楽しみにしていました。最初は、和気あいあいとした雰囲気でしたが、外が暗くなり始めると不安そうな顔をみせる子どもたち。ですが、スイカ割りや思い出制作「写真スタンド」作り、夕食タイムなど活動が次第に増えるにつれて、いつの間にか笑顔が広がり、友達との会話も弾んでいました。おかわりする子も現れるほど、食事も楽しんでいたようです。

スイカ割りのイベントでは、目隠しをしたお友達に「右だよ!」「前!前!」と声をかけ合いながら、みんなが協力して



スイカを割ることができました。スイカはデザートとして楽しめました。

また、小学生のお兄さんやお姉さんからのご指導を受けながら、思い出制作「写真スタンド」を作成しました。粘土を使って形を作り、貝がらを張り付けてどんな作品ができるか試しながら挑戦していました。日が暮れていく中、キャンプファイヤーの周りに集まり、盆踊りをして盛り上がりました。その後は先生から渡された手持ち花火を安全に楽しみ、花火の燃焼時間を競ったり、色彩を楽しんだりしました。

このお泊り会が、夏の楽しい思い出として、子どもたちの心に残ってくれるとうれしく思います。

(原稿・画像提供 たっくんども園)

## 俳句

秋風鈴振って鳴らしてより仕舞ふ

やなた翠芳(孝芳)

明日あると期して色もつ草の花 森きよし(清)

生きること務めと思ふ秋の蝉 川村キエ

秋日和園児の鼓笛響きけり 山本一枝子

参道の一段ごとに涼新た 中村磨也(忠充)

風ありてこそ華やぎ秋ざくら 原 秋月(菊次郎)

みろく吟社では会員を募集しています。俳句に興味のある方は、篠田(☎32-3878)までご連絡ください。



### TCV(田子町ケーブルテレビジョン)からのお知らせ

- ◎サポートセンター(月曜～金曜 午前9時～午後5時)  
☎0120-557-759(祝日を除く)  
加入の申込・変更・廃止、ケーブルの移設などの際にご連絡ください。
- ◎故障受付(24時間) ☎0120-262-750  
テレビが映らない、などの故障時にご連絡ください。





リレー連載  
第1回

# 知っておきたい 田子町の福祉・介護のお役立ち情報 居住（きょじゅう）サービス



◆65歳以上の方、こんな不安はありませんか？



雪が多いと雪かきができないから、一人暮らしが不安だわ。



雪が積もると、買物や通院が大変だなあ。

高齢者が使いやすいお部屋を、**3カ月程度利用できるサービスがあります！（光熱費等の費用負担あり）**

## ①せせらぎの郷（田子診療所となり）



## ②けやき（グループホームけやき荘の後ろ）



※くわしい入居の条件や内容は、今月号の9ページをご覧ください。

担当：役場地域包括支援課（せせらぎの郷）中村・稲村 ☎20-7100

⇒次は「せせらぎの郷」についてお知らせします。

地域おこし協力隊  
木村治樹隊員が取材！

## 町内で頑張る地域おこし協力隊を紹介します

2019年5月より、田子町の地域おこし協力隊として活動されている五十嵐孝直さん(38歳)。外語大学を卒業後は横浜の総合商社に就職。海図を販売する業務にあたり、そこからシンガポールにも渡り、現地での法人設立、経営に携わるなど、多岐にわたる業務をこなす一方、自らで新たな販路を開拓する意思が強くなったとのこと。そんな中、仕事先で出会った地方の問題に直面し、地方創生への意識が高まったそうです。

その後、ご縁あって田子町と出会い移住されました。寒さなど生活面で困ることは特になかったそうで



すが、町になじむことには、自分なりに時間がかかったそうで「最初の頃は焦りもあって、とにかく悩んだ」そうですが、様々な場所で田子町のPRに尽力され、その多岐にわたる活動は、現在シンガポールに田子にんにくを輸出するまでに至ります。「産直の野菜のおいしさに驚いた。

農家の方の努力を感じた」「田子町の方々にはんにくだけでなく、いろんな食材のおいしい食べ方を知っているし、四季の楽しみ方も知っている」。実際に住んで、いろんな人と関わることで感じたことを、今も発信し続けています。

「田子町で頑張られている農家の方のサポートがしたい。町にあるモノを有効活用したり、良い意味で型にハマらずにやっていきたい。何よりも自らが新たな道を開拓することで、子どもたちに希望を持ってもらいたい」と明日を見据え、力強く語られました。

(※2024年4月退任予定)

## はじめてのハッピーバースデー

令和4年9月に生まれた満1歳のお友だちです。



●川端悠叶ちゃん  
R4.9.15

(野面・男の子)

食いしん坊の我が家のアイドル！いつも、みんなを笑顔にしてくれてありがとう☆これからも、元気にすくすく育てね☆



●上沢莉彩ちゃん  
R4.9.28

(干草場・女の子)

のほほんとした雰囲気と笑顔で明るくしてくれていつもありがとう。ご飯をたくさん食べて、スクスク大きくなってね！